

第五十表 臺灣彭佳嶼北東方ノ蒸氣噴出

年月日	同上(西曆)	記事
大正五年四月十八日	一九一六年四月十八日	<p>軍艦秋津洲ハ四月十八日彭佳嶼北東方、約三十九哩、北緯二六度一分〇秒、東經一二二度二七分三〇秒ノ位置ニ於テ海面ヨリ蒸氣ノ湧騰スルヲ發見セリ、同艦ハ約四哩ノ距離ヨリ之ヲ發見シ其面積約三十米平方ニシテ漸次濃厚ノ度ヲ加ヘ、少時ニシテ次第ニ其ノ度ヲ減ジ約十分ノ後、同艦ガ約一哩ノ距離ニ近ヅキタルトキ全ク消散シタリ。(海軍水路部告示)</p>
<p>第五十一表 臺灣鯉魚山(泥火山)噴出 火山ニハ非ザルモ參照ノ爲メ噴出記事ヲ掲載ス</p>		
年(西曆)	月日	記事
明治三十四年(一九〇一) 同 三十五年(一九〇二)	十二月二十一日 九月二十日	<p>噴出。兩三日ニテ止ム。(臺灣日新報) 該山ハ客年十二月二十一日突然噴火シタルモ兩三日ニシテ終熄シタルモノナルガ去月二十日午後六時三十分頃再ビ噴火シ始メタリ、其位置ハ港西下里道爺庄ノ南方約四町鯉魚山脈ヲ北方ニ距ル五町餘ノ田園中ニアリ地上約三丈ノ高サニ火焰ヲ噴出スルト共ニ鼠色ノ泥土ト熱湯トヲ一丈有餘ノ高サニ昇騰シ鳴動ノ聲恰モ遠雷ノ如ク地盤之ガ爲ニ微動ヲ感ゼリ其</p>

年 (西曆)

月 日

記 事

明治三十八年(一九〇五)

一月二十二日

ノ二三十間ノ地域ハ絶エズ土砂ヲ降下シ午後十一時二十分頃ニ火口ヲ距ル東方五間餘ノ箇所ニ更ニ小火口ヲ増シ尙火焰ハ一丈餘ノ高サニ噴出ス附近田園約二段歩ノ農作物ハ其ノ噴出熱湯ト泥土ノ爲ニ埋没セラレタリ故ニ附近田園ハ築堤ヲ設ケ此等泥土ノ侵入ヲ防ギ傍ラ泥湯ヲシテ溪水ニ流注セシムルノ方法ヲ講ジ日々夫々警戒中ナリト云フ。(明治三十五年十月四日臺灣日々新聞)

鯉魚山ハ去ル二十日午後六時噴火シ今尙ホ熄マズ人畜ニ死傷ナキモ田畑ノ被害多シ。(明治三十五年九月二十五日時事新報)

鯉魚山ハ去ル二十日午後六時三十分頃ヨリ俄然噴火シ今尙熄マズ附近ノ田園被害甚ナカラズ。(明治三十五年九月二十四日臺灣日々新聞)

去ル二十二日午前二時阿猴管内コウセウシセウ(鯉魚山)附近ニ噴火シ吹揚リ附近ハ爲ニ震動シ土塊噴出シタレバ交通杜絶シ耕作物ニモ多少ノ被害アリタリ、尙該噴火ハ二十三日午前十時五分鎮靜シタリト云ヘリ。

(明治三十八年一月廿六日萬朝報)